

特定本邦航空運送事業者（※）に関する航空輸送サービスに係る情報公開（平成24年1～3月）のポイント

※特定本邦事業者

- 日本航空：JAL（日本航空、ジェイエア、ジャルエクスプレス）
- 全日本空輸：ANA（全日本空輸、エア・ニッポン、ANAウイングス）
- 日本トランスオーシャン航空：JTA
- スカイマーク：SKY
- 北海道国際航空：ADO
- スカイットアジア航空：SNA
- スターフライヤー：SFJ
- Peach Aviation:APJ

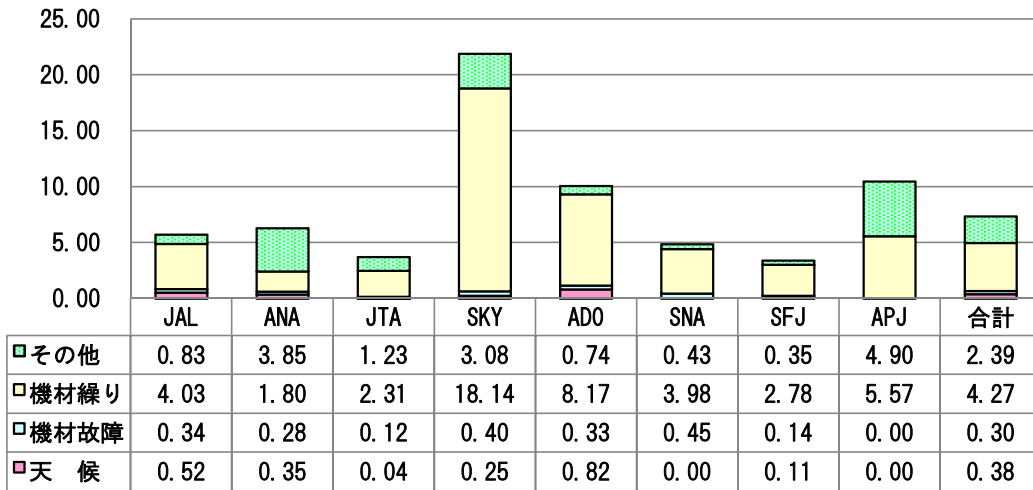
1. 輸送サービスの比較等に関する情報

(1) 遅延率（平成24年1月～3月）

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
7.35%	7.19%	0.16ポイント増加

※備考「遅延便」とは、出発予定時刻より15分を超えて出発した便をいう。

遅延率（平成24年1月～3月）



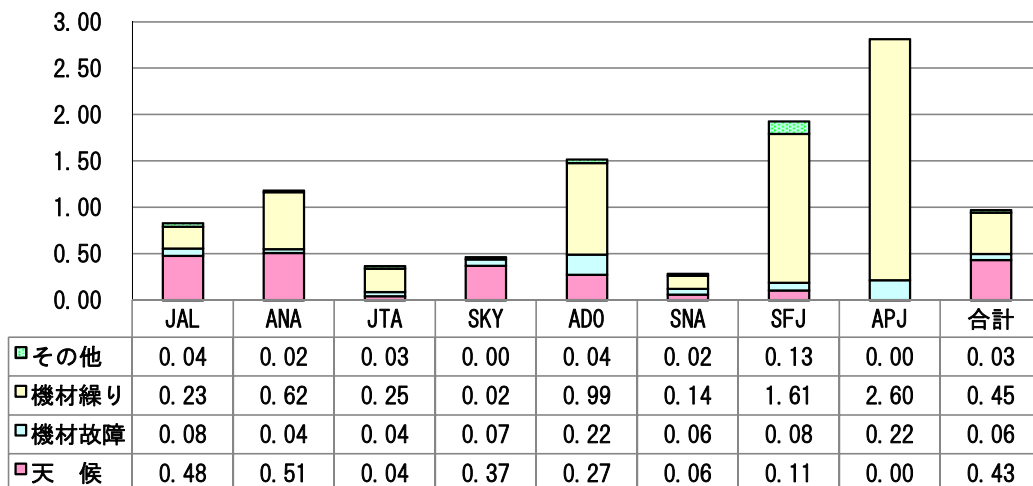
※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。（夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。）

※Peach Aviation3月分の実績

(2) 欠航率（平成24年1月～3月）

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
0.97%	2.26%	1.29ポイント減少

欠航率（平成24年1月～3月）



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。（夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。）

※Peach Aviation3月分の実績

2. 運賃関連情報

(1) 輸送実績（平成24年1月～3月）

項目	当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
平均搭乗区間距離	916km	918km	0.22%減
輸送人員	1926万4886人	1736万5339人	10.94%増
輸送人キロ	176億5315万人キロ	159億5083万人キロ	10.67%増
旅客収入	2944億43百万円	2792億10百万円	5.45%増
輸送人員あたり 旅客収入	15.3千円	16.1千円	4.97%減
輸送人キロあたり 旅客収入	16.7円	17.5円	4.57%減

(2) 路線別データ（平成24年1月～3月）

①旅客数

上位5路線は次のとおり。

1位	東京＝札幌	212万3873人
2位	東京＝福岡	189万6187人
3位	東京＝那覇	123万8489人
4位	東京＝大阪	119万9101人
5位	東京＝鹿児島	51万9960人

②利用率

上位5路線は次のとおり。

1位	中部＝石垣	83.8%
2位	関西＝宮古	82.1%
3位	大阪＝札幌	80.6%
4位	大阪＝花巻	77.3%
5位	東京＝奄美	77.0%
全路線		61.1%

下位5路線は次のとおり。

1位	東京＝大島	19.6%
2位	札幌＝紋別	20.5%
3位	札幌＝稚内	26.1%
4位	成田＝新潟	29.2%
5位	札幌＝函館	33.9%
全路線		61.1%

3. フレックストラベラー制度（※）に関する情報

平成24年1～3月における、フレックストラベラー制度を有する航空会社又はグループの全輸送人員に対する不足座席数の割合（1万人あたり）が高かった上位3社は次のとおり。

（※）オーバーセールス（搭乗手続きに来た予約客の数が提供座席数を上回る結果、座席を提供できない予約客が発生すること）の発生が判明した時点で、自主的に搭乗を取りやめる旅客を航空会社が幅広く募集する。

		全輸送人員に対する不足座席数の割合 （1万人あたり）	
		当期実績	前期実績
①	スターフライヤー	1.17人	0.87人
②	日本航空	1.14人	0.56人
③	全日本空輸	0.99人	1.25人
	全社平均	1.01人	0.94人